

デーリー東北  
2019年(平成31年)1月25日(金曜日)(16)

# 津波防災 共に学ぶ

## 種市高と八工大 連携授業成果発表会

八戸

岩手県立種市高と八戸工業大は21日、同大で連携授業の成果発表会を行った。授業は両校の連携教育活動の一環として本年度初めて実施。同校海洋開発科3年生9人が、同大の学生らと一緒に学んだ津波防災教育の成果を報告した。

(中山瑞希)

同校と同大は2016 協定を締結。授業は昨年3月、海洋に関する教育と研究の推進、人材育成などを目的とした連携が中心となつて行われた。これまで8回にわたる、平面水槽を使った津波遡上実験や、ハザードマップアニメーション作成などに取り組んできた。

### ハザードマップ作成

連携授業の成果を報告した種市高の生徒

授業の集大成となる同日の発表会では、生徒が同校周辺の津波到達度を5秒ごとに表したハザードマップを紹介。見る見ると津波の恐ろしさを知った。感想を話した。発表を終え、吹切亮介さん(18)は「高校とは違う専門的な勉強は難しかった」と連携授業を振り返りながら、「今後の小中学校などで行う出前授業では、より防災意識を高められる指導ができると思う」と充実した表情を見せた。

同大によると、今回の取り組みをモデルに、同校と19年度以降も連携教育活動を継続していく予定という。

